

# 自然保護の精神を受け継ぐ

多くの人に感動を与えた

## 田淵行男作品展



山岳写真に高山蝶  
自然の魅力に心奪われる

日野町黒坂出身の山岳写真家、故田淵行男さんの作品展が、6月13日から26日の14日間、日野町山村開発センターで開かれました。

来年6月に生誕百周年を迎えることから、田淵さんが移り住んだ長野県豊科町と共催して、初めて田淵さんの故郷



涸沢の秋 1960年10月撮影 所載文献「山の季節」



山岳写真、高山蝶などの作品に見入る来場者

ギャラリートーク

### 田淵行男を語る

田淵行男作品展初日の6月13日、田淵行男記念館長と写真家の水越武さんを招き、田淵行男の魅力について語る「ギャラリートーク」が行われました。



Akahane

赤羽行雄（あかはねゆきお）  
豊科町文化財団田淵行男  
記念館長



Ikuta

生田英明（いくたひであき）  
写真教室講師・写友会ひの  
ギャラリートーク進行役

**赤羽** 田淵さんは思想の一つに「自然は母なる大地。自然の中で自分たちが生かされている。だから自然を大切にしていかなければならない。人間の命も、小さな虫の命も平等なんだ」という考えを持ち、すべてを見つめてきた。だから、人間の都合によって自然開発が進むことをなげいていた。その気持ちは

や動物が共生していかなければならないという田淵さんの考え方を世の中に伝えていくのが田淵記念館の責務であると思う。

写真集の中でも表現されている。いかに自然環境を保護し、自然そのものの姿のまま人間

**生田** 黒坂での生き方が田淵さんの人生のベースになっているような気がする。やはり幼いころの感性が大切だと思



Yukio Tabuchi